

①対応済の案件

該当なし

②新たに対応中、対応方針を決定した案件

年	月	質問要旨	答弁要旨	対応方針・進捗状況	所管課	
30	9	特定不妊治療費助成制度の導入について、熊本県は、特定不妊治療助成事業を実施している。また、多くの自治体では、その県の事業を補完し負担を減らす助成制度を作っている。大津町においても同様の制度を定めてはどうか。	特定不妊治療に対する町の助成については、取り組まなければいけない課題と捉えており、周辺市町村の動向を踏まえながら、実施に向けた検討をしていきます。	検討中	31年度からの助成制度の運用開始を目指して、不妊治療の助成を実施している県内自治体の情報収集に努めながら、対象要件や助成額等についての検討を行なっている。	健康保険課
30	9	町営住宅の入居に際しての連帯保証人の取り扱いについて、近年、身寄りのない単身高齢者等が増加していることで、町営住宅への入居に際して保証人の確保が困難になっている。住宅弱者に対して、的確に町営住宅が供給できるよう連帯保証人要件をなくすことが必要である。	困っておられる方については、例外的に連帯保証人ではなくて緊急連絡人等の届出をされている例もあるので、本町においてもそういった取り組みができないか検討します。	検討中	特別な事情等により、連帯保証人がどうしても立てられない場合、「緊急連絡人」を指定することで、連帯保証人の免除を認める内容の「取扱要綱」を制定し、運用している自治体が複数あるため、大津町でもこれらの自治体が策定している「取扱要綱」的な内容のものを今年度中に策定できるように検討を行なっている。	

③対応中、対応方針を決定している案件

年	月	質問要旨	答弁要旨	対応方針・進捗状況	所管課	
28	12	・消防団活動の支援の輪を広げる機能別消防団員を設置し、消防団活動を更に強化しないか。	・機能別消防団については、町消防団幹部会議において、議論を始められたところです。今後、すでに機能別消防団を設置している自治体の状況や町消防団幹部会議での検討結果を踏まえながら進めてまいります。	対応中	・現在、町消防団幹部会議において、検討を進めております。今月、機能別消防団の先進地研修を消防団幹部で実施しております。今年度中には、ある程度の方向性を示せるよう進めていきます。	総務課

29	3	<p>・大津町における公共交通網の現状とあり方については、平成28年3月策定の大津町地域交通網形成計画において分析され、個別計画策定が平成29年度になされる予定になっている。</p> <p>公共交通を福祉の観点から捉えれば、高齢者に外出の動機付けをすることや健康づくりにつなげる取り組みが必要である。</p>	<p>・部課を超えた総合的な体制づくりとして、公共交通会議における専門部会の設置を検討したい。</p> <p>高齢者で免許証を自主返納された方への対応策についても検討したい。</p>	対応中	<p>今年3月に地域公共交通会議に事業者部会を設け、バス・タクシー事業者を含めた協議を開始した。</p> <p>高齢者の外出支援等を含む地域公共交通網形成計画については、現在町内バス路線の一部見直しと合わせた乗合タクシーの対象地域拡大について準備中。乗車率の低い内牧環状線を廃止し乗り合いタクシーの来年度からの導入を目指している。既に町南部の住民説明会を終え、12月開催の地域公共交通会議に諮る予定である。また、町内全域の新たな交通体系の構築についても同計画に基づき、複数の交通体系について検討作業を進めている。</p>	総合政策課
29	12	<p>・生涯学習センター、公民館（中央公民館）、町民集会所（文化ホール）、町民交流施設（オークスプラザ）、条例での名称は非常にわかりにくい。条例改正、または、通称でわかりやすく統一したらどうか。</p>	<p>・施設の名称は、条例上の正式名称や呼称として使用している名称などがあります。</p> <p>現在管理している公共施設で、複数の名称で使用されている施設の名称については、わかりやすい呼称に統一する方向で検討します。</p>	対応中	<p>・町の公共施設全体について、名称（呼称）を統一することについて、関係各課と協議し、生涯学習センター（中央公民館、町民集会所）、オークスプラザ（町民交流施設）、大津町交流会館（大津町まちづくり交流センター）について、特に、わかりづらい状況があるため、条例改正を含めて、継続して検討していきます。</p>	生涯学習課

30	6	町民が健康づくりに「お得に」「楽しく」「無理せず」取組めるような、わかりやすい「健康ポイント事業」を導入し、町民1人1人が健康寿命を延ばし、生涯にわたって健康で安心して暮らせるための取り組みをおこなうべきだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・「水水」が、お得に楽しく無理せず取組めるように、引き続き更なる改善について検討していきたい。 ・国の補助事業をうまく活用しながら、健康ポイントを活用した健康づくりの取り組みの導入に向けて検討を進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の「水水」ポイントを、30代、40代の若い方々が個人で取組もうとするような魅力ある「健康ポイント事業」へと進化させるためには、まず、「お得に、楽しく」の観点からポイントの還元がもっと実益的なものになるようにすると、そして「無理せず」の観点からは、電子ポイント化で手軽にポイントを貯めれるようになることの2点が肝要である。これらを実現するためにも、マイナンバーを使った実証実験をはじめとする国の補助事業の運用状況を、ここ数年はしっかりと見極めていく対応をとっている。 	総務課 健康保険課	
30	6	公立小中学校の遠距離通学にかかる費用への助成が必要ではないか。スクールバスが導入されている学校との公平性の観点から、民間バスで通学する場合にかかる費用への助成が必要だ。	町の公共交通政策の検討の中で、現在の課題にあわせた検討を進め、その中で、遠距離通学をしている児童生徒の対応についても併せて検討していきたい。	検討中	<ul style="list-style-type: none"> ・総合政策課と協議中 ・第1回大津町地域公共交通会議を開催 ・第2回大津町地域公共交通会議を開催 	学校教育課

④検討の結果、対応しないこととした案件

年	月	質問要旨	答弁要旨	対応方針・進捗状況	所管課
30	6	結婚に伴う住居費や引越費用などを補助する結婚生活支援事業を推進するべきではないか。	前向きに検討する。	対応中	子育て支援課
30	3	生活困窮者等を対象にした学童保育料の補助制度について創設する考えは無いか。	子育て世代の経済的負担の軽減については、総合的に整理し、県や関係機関とも協議し、急いで検討を進めたい。	対応中	子育て支援課

30	3	<p>学童保育の増加に伴い、受け皿確保に向けた取り組みについて、今後の予測を踏まえた整備計画（新設・民活・学校利用施設等）の中で、余裕教室（特別教室）利用は検討できないか。</p>	<p>今後の学童需要を見込むと避けて通れない問題と思うので、各学校の施設管理をどうするか校長等の意見を伺い、しっかり整えていきたい。</p>	<p>対応中</p>	<p>現在の予測で、学童需要が増加する見込みの学校については、教室も増設しなければならぬ状況であるため、教室の余裕は見込めません。今後、該当するケースができれば、改めて検討します。</p>	<p>子育て支援課</p>
----	---	--	--	------------	--	---------------